

第 3353 図



くちびるばな科

おおあきぎり

Salvia glabrescens Makino
(= *S. robusta* Makino)

北陸地方から本州西部にかけて産する多年生草本である。アキギリよりも往々大形になり毛が少く、葉は巾広く円味があり、花は紫堇色である。葉はほぼ心臓形で先は円味があって急に尖り、基は戟状で横に張り出した短く尖った裂片があり、縁にはあらい鋸歯があり、長さ6-10cm巾4-10cm、上面や下面脈上に毛が散毛する。秋、茎頂に繸状に紫堇色の花を開く。花梗は短く、萼は鐘形で長さ1cm内外、脈上に毛がある。花冠は長さ約2.5cm、唇状に2中裂し、下唇は浅く3裂し、側片は短い。2雄蕊、1雌蕊がある。

第 3354 図

しなのあきぎり

Salvia Koyamae Makino

長野県松原湖附近の林下に産する多年生草本である。茎の下部は横に臥して節から根を下ろす。全体に立った腺毛が密生している。葉は対生し長い柄があり、広卵形で先は急に長く尖り基は心臓形、縁にはあらい鈍鋸歯がある。8-9月、茎頂に繸状に黄色の唇形花を開く。花梗は長さ5mm許、萼は鐘形で長さ1cm内外、腺毛が密生し、下裂片は長三角形である。花冠は長さ約2.5cm、筒部は上部内側に環状に毛が生え、上唇は長楕円形で凹頭、下唇は濃黄色で長さ巾共1cm許、巾広く3浅裂する。2雄蕊、1雌蕊。和名は信濃国に産するアキギリの意味である。

くちびるばな科



第 3355 図

いぬたむらそう

Salvia longipes Satake
(= *Polakiastrum longipes* Nakai)

遠州の低山地に生ずる多年生草本。地下に短かい根茎がある。茎は直立、花時に高さ30-50cm、概形きわめて多形であるが、よくアキノタムラソウに一致する。即ち3小葉のものから8小葉の二・三出のもの迄種々の葉が株に依って違う。晩夏から穂に花がつくが、種々の形があり、最も普通のもの5mm内外の有柄で、花は5mm長内外、萼は短かい2層、花冠は質稍々厚く緑紫色で2層上唇は短かく3裂し、下唇は長く、雌蕊は屢々葉化しているので、花後結実せずに再び若い枝となることが多い。子房は2室となり、クチビルバナ科の基本からはずれるので曾って独立属とされたことがある。

くちびるばな科



はなとらのお

Physostegia virginiana Benth.

北米東部原産の多年生草本で観賞用として栽培され、地下に蔓をだして繁殖する。全体はほぼ無毛、茎は高さ30-100cmで直立し、4稜があって面は溝状に凹む。葉は無柄で対生し規則正しく十字状にならび、質厚く披針形で長さ4-12cm巾8-30mm縁に鋭い鋸歯がある。夏秋、茎頂に長い密な穂をして淡紅色、紫紅色又は白色の花を開く。苞は披針形で十字状にならび、花は殆ど無柄、萼は鐘形で先は尖った5裂片にわかれる。花冠は長さ2-3cm、筒部は基は細そいが中部から上は太く膨らみ、上唇はやや帽状に盛り上り、下唇は3裂し、中央片は少し巾広く凹頭、内側に紫紅色の小斑点がある。4雄蕊、1雌蕊。花後萼は膨らみ、内に分果をつつむ。

ひめおどりこそら

Lamium purpureum L.

雑草として主に都会地附近に見られるヨーロッパ原産の1又は2年生小草本。茎はもとから分れ高さ10-25cm、4角で短毛がある。葉は対生し長い柄があり、円味のある卵形で心脚、まわりに鈍鋸歯があり長さ2cm内外、上面は脈が網状に凹み縮んで見え、両面に軟かい毛が生えている。茎上部の葉は柄が短かく密につき、しばしば暗紅色をおび、その葉腋に1-3個の花が輪状にならんでつく。早春から開花し、花は汚紅色で長さ8-10mm、オドリコソウの花を小さくした様な形である。萼は長さ約5mm、針状に尖った5裂片がある。和名は姫踊子草の意味である。

ひめさせわた

Lamium tuberiferum Ohwi
(= *Leonurus tuberiferus* Makino,
Matsumurella tuberifera Makino)

九州南部、琉球、台湾に産する多年生小草本である。地下に匍枝を出し、その先に卵球形で長さ1cm内外の塊茎をつける。茎は単一又は基で分枝し、高さ8-25cm、下曲した毛が多い。葉は柄があり対生し、広卵形で基は広楔形又は浅い心臓形、先は下部の葉では円く上部の葉ではやや尖り、縁にあらい鈍鋸歯があり、長さ1-3cm巾1-2.5cm両面共毛がある。4-5月、葉腋に淡紫色の唇形花を開く。花梗はごく短く、萼は長さ約5mm、毛が多く、5中裂し、裂片は披針形で鋭く尖る。花冠は長さ1.5cm許、上唇は凹頭、下唇は3裂し、中央片は扇状にひろがり凹頭である。4雄蕊、1雌蕊。

第 3356 図



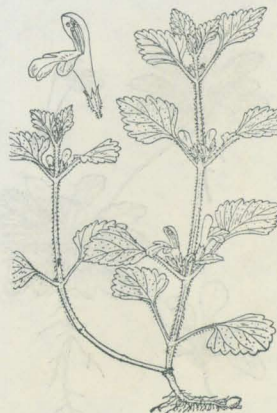
くちびるばな科

第 3357 図



くちびるばな科

第 3358 図



くちびるばな科